

# 横浜港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成28年7月

横浜港港湾管理者

横 浜 市

## 目 次

1 変更理由 .....	1
2 専用埠頭計画に関する資料 .....	2
3 臨港交通施設計画に関する資料 .....	3
4 港湾環境整備施設計画に関する資料 .....	4
5 土地利用計画に関する資料 .....	5
6 港湾の効率的な運営に関する資料 .....	6
7 環境の保全に関する資料 .....	6
8 その他の資料 .....	7
8-1 横浜市港湾審議会名簿 .....	7

## 1 変更理由

- 1) 立地企業の要請に対応するため、磯子地区において専用埠頭を新たに計画する。
- 2) 港湾における交通の円滑化や、山下ふ頭の再開発に対応するため、山下ふ頭地区において臨港交通施設を計画し、土地利用計画及び港湾環境整備施設計画を変更する。
- 3) 港湾物流の高度化・多様化に対応した国際流通拠点を形成し、貨物の需要創出を図り、国際競争力を強化するため、大黒ふ頭地区、本牧ふ頭地区、南本牧ふ頭地区、新本牧ふ頭地区において効率的な流通業務を特に促進するように措置することを計画する。

## 2 専用埠頭計画に関する資料

### 2-1 計画の必要性

磯子地区において、ジャパンマリンユナイテッド株式会社が造船船舶等の係留を行うため、新たに小型桟橋を計画する。

### 2-2 計画の概要

立地企業の施設計画に対応するため、次のとおり計画する。

表 2-2-1 計画の概要

地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	基数	管理者
磯子	小型桟橋	—	—	2 基	ジャパンマリン ユナイテッド 株式会社

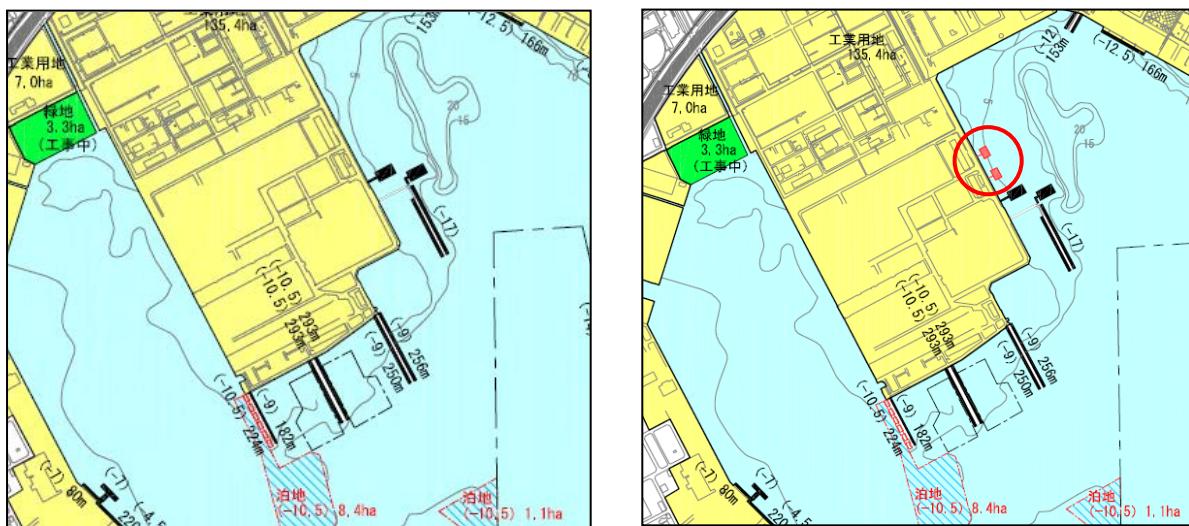


図 2-2-1 磯子地区計画の位置 (左: 変更前、右: 変更後)

### 3 臨港交通施設計画に関する資料

#### 3-1 計画の必要性

港湾における交通の円滑化を図るとともに、山下ふ頭の再開発に対応するため、臨港交通施設を計画する。

#### 3-2 計画の概要

港湾交通の円滑化を図るため、次のとおり計画する。

表3-2-1 計画の概要

種別	施設名	起点	終点	車線数	備考
臨港道路	山下ふ頭内道路	臨港幹線 山下ふ頭	山下ふ頭	4	新規計画



図3-2-1 山下ふ頭内道路 計画の位置

## 4 港湾環境整備施設計画に関する資料

### 4-1 計画の必要性

地区の特性を生かしながら周辺と調和のとれた緑の環境を形成し、「市民の港」として、快適な港湾空間や魅力有る親水空間を創出し、継承していくため、計画を変更する。

### 4-2 計画の概要

港湾環境の形成等を図るため、次のとおり計画する。

表4-2-1 計画の概要

地区名	施設名	面積	種類	備考
山下ふ頭地区	山下ふ頭緑地	1.4 ha (1階) 1.1 ha (2階)	シンボル緑地	既定計画の 変更計画

表4-2-2 既定計画の概要

地区名	施設名	面積	種類
山下ふ頭地区	山下ふ頭緑地	14.9 ha	シンボル緑地

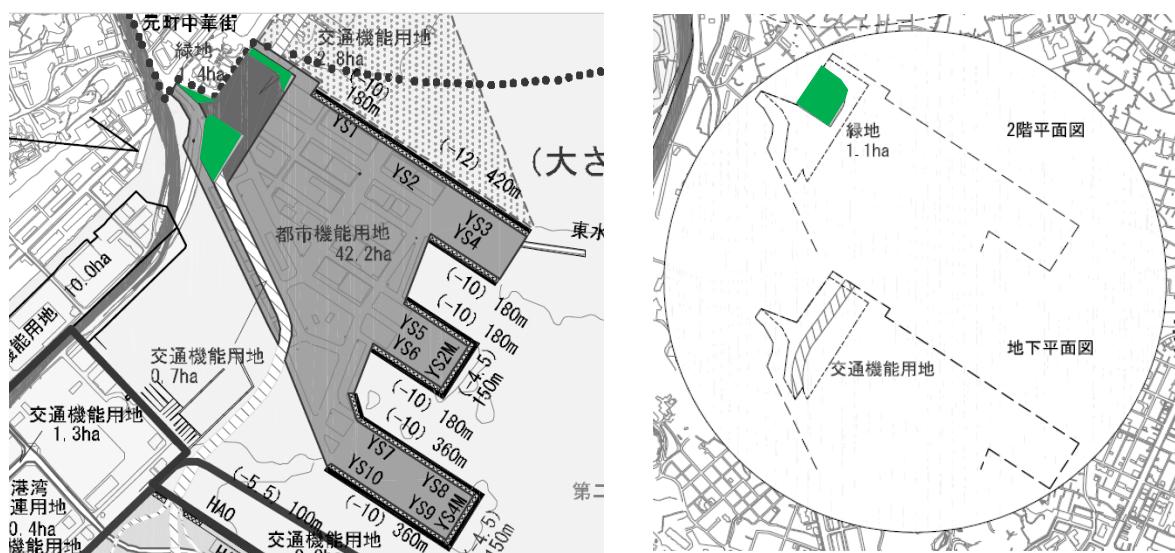


図4-2-1 山下ふ頭緑地計画の位置 (左図: 1階平面図、右図: 2階平面図)

## 5 土地利用計画に関する資料

港湾施設の計画に対応するとともに、多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間の形成を図るため、次のとおり計画する。

表 5－1 土地利用計画の変更

単位：ha

地区名	用途	埠頭用地	港湾関連用地	工業用地	都市機能用地	交通機能用地	緑地	交流厚生用地	海面処分用地	合計
山下ふ頭	変更前				31.5	(0.7) 0.7	(14.9) 14.9			(15.6) 47.1
	変更後				42.2	(3.5) 3.5	(1.4) 1.4 [1.1]			(4.9) 47.1 [1.1]
	増△減				10.7	(2.8) 2.8	(△13.5) △13.5 [1.1]			(△10.7) [1.1]

注 1) () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地利用計画で内数である。

また、[ ]は2階レベルの土地利用計画で外数である。

注 2) 端数整理のため、内数の和は必ずしも合計とはならない。

注 3) 今回の変更に係る地区についてのみ記述した。



図 5－1 山下ふ頭地区  
土地利用計画図[変更前]



図 5－2 山下ふ頭地区  
土地利用計画図[変更後]

## 6 港湾の効率的な運営に関する資料

### 6-1 計画の必要性

港湾物流の高度化・多様化に対応した国際流通拠点を形成し、貨物需要創出を図り、国際競争力を強化するため、以下の区域において、効率的な流通業務の運営を特に促進するように措置する。

### 6-2 計画の概要

国際海上コンテナ運送に係る貨物の保管等であって、流通加工を伴うものの用に供する保管施設等を大黒ふ頭地区、本牧ふ頭地区、南本牧ふ頭地区、新本牧ふ頭地区に配置する。

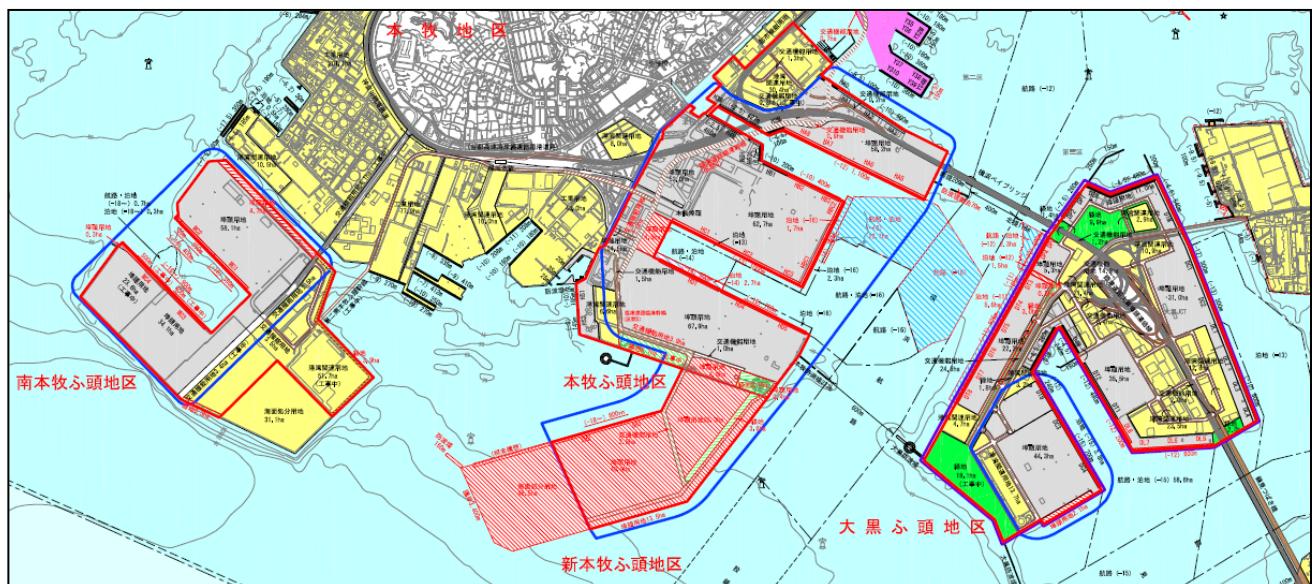


図 6-2-1 効率的な流通業務を特に促進する区域

## 7 環境の保全に関する資料

今回の計画変更に伴う環境負荷の変化は軽微なため、今回計画が環境に及ぼす影響は軽微なものであると考えられる。

## 8 その他の資料

### 8-1 横浜市港湾審議会名簿

(平成28年7月現在)

	区分	幹事	氏名	役職	備考
1	関係行政機関の職員 6		ながとも 長友 哲次	横浜税關長	
2			きむら 木村 博承	横浜検疫所長	
3			たかだ 高田 昌行	関東地方整備局副局長	
4			もちなが 持永 秀毅	関東運輸局長	
5			こじま 小島 良二	京浜港長	
6			おだ 小田 重人	神奈川県警察本部交通部長	
7	学識経験のある者 6		かわしま 川嶋 康宏	日本港湾空港建設協会連合会会长	
8			いけだ 池田 龍彦	横浜国立大学名誉教授	
9			よこうち 横内 憲久	日本大学特任教授	
10			あづま 東 幾世	株式会社テレビ神奈川取締役営業副本部長兼営業局長	
11			うちだ 内田 裕子	ハーベイロード・ジャパン副代表 経済ジャーナリスト	
12			かわの 河野 真理子	早稲田大学法学学術院教授	
13	市会議員 3		さかい 酒井 誠	横浜市会国際・経済・港湾委員会委員長	
14			やまもと 山本 たかし	横浜市会国際・経済・港湾委員会副委員長	
15			ありむら 有村 俊彦	横浜市会国際・経済・港湾委員会副委員長	
16	港湾関係団体の代表者 13		あべ 阿部 且	横浜船主会会长	
17			ふじき 藤木 幸夫	横浜港運協会会长	
18			おこのぎ 小此木 歌藏	神奈川倉庫協会会长	
19			なりまつ 成松 清秀	横浜エゼント会会长	
20			いいすみ 飯泉 牧太郎	横浜回漕協会会长	
21			ふじき 藤木 こうた 幸太	横浜港湾荷役協会会长	
22			いしぐろ 石黒 明博	京浜海運貨物取扱同業会会长	
23			おおやま 大山 浩邦	全日本海員組合関東地方支部 地方支部長	
24			とうかい 東海 和男	横浜港湾労働組合連合会中央執行委員長	
25			すずき 鈴木 誠一	全日本港湾労働組合関東地方横浜支部執行委員長	
26			やまさき 山崎 正敏	東京湾水先区水先人会会长	
27			えざわ 江澤 和彦	JXエネルギー株式会社執行役員根岸製油所長	
28			うえの 上野 誠	公益社団法人横浜貿易協会会长	
29	横浜市の住民		やまだ 山田 ひとみ 比都美	-	

(順不同)